

あなたの福祉の応援団



させぼ社協だより



私たちが暮らす地域には、高齢者や障がいのある方、子育て中の方など、様々な方が生活しています。

身近な地域の中でお互いの“さりげない気づかい”や“ほんの少しの目配り”で、地域の中で発生する様々な福祉課題を早期に発見することができ、問題が深刻になるのを未然に防ぐことができます。

また、特に近年、防災への関心が高まる中、日常的に見守り活動や交流活動が行われている地域ほど、災害時における住民同士の助け合いが円滑に進むとも言われています。

そこで今回は、現在地域の中で取り組まれている見守り・支え合い活動をちょっと覗いて、参加者の声をきいてみましょう。

特集 地域の見守り・支え合い活動

もくじ

- ◆特集 地域の見守り・支え合い活動 P2～
- ◆大雨・台風シーズン到来！ P4～
災害に対するご家庭での備え
～これだけは準備しておこう～
- ◆災害ボランティアセンターとは？ P6
- ◆おしらせ P7
福祉・介護職場への就職ミニ面談会のご案内
- ◆善意のご芳志ありがとうございました P8
寄付のお礼について
LET'Sあたまのストレッチ

社会福祉法人 佐世保市社会福祉協議会



この広報紙は、会費・寄付金や、共同募金の配分を受けて作成されています。



特集

地域の見守り・支え合い活動



見守り活動って？

地域において支援が必要な高齢者などに対して、民生委員などの地域福祉活動関係者や地域住民が行う「あいさつ」「声かけ」「生活の様子を気にかける」などといった活動です。

また、活動を通じて、住民同士が共に支え合って安心して暮らし続けることができる地域づくりを進めることです。



地域の見守りって？

地域の見守りは大きく3種類

緩やかな見守り

地域住民の方が、日常生活の中で緩やかに見守る活動

担当による見守り

定期的な声かけなどが、必要な方に対して、民生委員や住民ボランティア等が自宅を訪問し、定期的に見守る活動

専門的な見守り

専門的な技術や知識を持つ専門機関の職員が行う見守り活動



見守り活動の内容は？

見守り活動は大きく分けると「日常的」なものと「定期的」なものとがあります。

日常的な見守り

- 日常生活の中で、さりげなく気に(する)留める方法
- ・新聞、郵便物がたまっていないかの確認
- ・夜に電気がついているかの確認
- ・庭が手入れされているかの確認
- ・洗濯物が干されているかの確認
- ・出会った際のあいさつ・声かけ

定期的な見守り

- (本人の了承の下)定期的に声かけ・訪問する方法
- ・安否確認のための訪問
- ・登下校時のパトロール
- ・ふれあいいきいきサロンの開催
- ・食事サービスなどのサービス提供
- ・広報誌の配布

見守り・支え合い活動の一つとして「通いの場」があります。



「通いの場」って？

高齢者をはじめとする地域の方が、お住まいの地域で元気にいきいきと暮らせるように、地域住民が主体となり活動している「ふれあいいきいきサロン」や「100歳体操」など定期的に集まれる場所です。

社会福祉協議会では、ふれあいいきいきサロンを支援しています。高齢者だけでなく、障がい者や子育て中の親など、閉じこもり孤立しがちな人たちが気軽に集まり仲間づくりができる活動です。



サロン活動の効果

- 楽しさ、社会参加、孤立感をなくす
- 閉じこもりの防止

無理なく体を動かせる

- 身近な地域の楽しいボランティア活動
- 地域の福祉力の向上



ふれあいいきいきサロンをのぞいてみよう

ひまわりサロン (桜木団地)



松田 良子 氏(民生委員)

サロンの立ち上げは、H27年6月です。サロン活動は楽しいし、健康づくりにもなっています。



瀬戸 秋子 氏

活動することで、様々な情報が入ります。また、見守り、支えられている感がありますね。

一人暮らしの方も多く、一人だと話す機会もないですが、活動を通して、みんなと一緒にいれるというのが良いですね。



古川 シズ子 氏

サロン設立3年目を迎えます。健康維持・増進、地域の交流のため、百歳体操や、レクリエーションを通して、参加者同士の交流を図っています。

春日1組いきいきサロン



あおぞらクラブ (世知原地区)

サロンの設立は、R2年4月です。新型コロナの影響で、自粛していた期間もありますが、今は感染対策を徹底し、楽しく活動しています。





大雨・台風シーズン 到来!!



**災害に対するご家庭での備え
～これだけは準備しておこう～**



非常用持出品



避難場所や経路



安否確認方法



非常持出品を準備しますか？

いざというときに、直ちに避難をするためには、日頃から非常持出品を準備しておくことが必要です。災害では、家屋が倒壊して、非常持出品を取り出せないこともあるので、取り出しやすく、災害の影響を受けにくい場所に置くようにしましょう。

非常持出品には、**一次持出品**と**二次持出品**の2つがあります。
次にあげたものを、自分用にアレンジして準備しましょう。



一次持出品

避難するときに最初に持ち出すものです。リュックに入れる重さは、男性で15キロ、女性で10キロ程度です。



貴重品

現金（公衆電話用の10円硬貨があると便利）、通帳、証書類、身分証明書、健康保険証、免許証、印鑑など



携帯ラジオ

小型で軽く、FMとAMの両方聴けるもの。予備の電池も多めに用意する。



懐中電灯

できれば一人にひとつ用意。予備の電池も用意する。



救急薬品

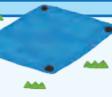
ばんそうこう、ガーゼ、包帯、消毒液、解熱剤、胃腸薬、風邪薬、とげ抜きなど。

※持病がある人は常備薬を忘れずに。



非常食料・水

缶詰など火を通さないでも食べられるもの、水、水筒、紙皿、ナイフ、缶切り、栓抜きなど。



その他

めがね、上着、下着、靴下、ハンカチ、ティッシュペーパー、ビニールシートなど。
※乳幼児がいる場合 ミルク、ほ乳瓶、おむつ、バスタオルなど
※要介護者がいる場合 着替え、おむつ、障がい者手帳、常備薬など

二次持出品

避難した後で少し余裕が出てから避難所へ持ち出したり、または自宅で、避難生活を送る上で必要なものです。救援物資が届くまでの数日間（3日間程度）、自足できる分量を備えましょう。



水

飲料水は大人一人当たり1日3リットルが目安。飲料水以外に炊事・洗濯・トイレなどに使う生活用水の確保のため、お風呂の残り湯を抜かない。



食料

そのまま食べられるか、簡単な調理で食べられるもの。缶詰やレトルト食品、チョコレート、梅干し、調味料など



燃料・その他

卓上コンロ、固体燃料、洗面具、歯ブラシ、ビニール袋、新聞紙など



避難場所や避難経路の確認していますか？



いざ災害が起きた時に慌てず避難するためにも、市のホームページや国土交通省ハザードマップポータルサイトなどから防災マップやハザードマップを入手し、避難場所、避難経路を事前に確認しておきましょう。



「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう。

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、
災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則です。

知っておくべき5つのポイント

- 避難とは「難」を「避」けること。
安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- 避難先は、小中学校・公民館だけではありません。
安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- マスク・消毒液・体温計が不足しています。
できるだけ自ら携行してください。
- 市町村が指定する避難場所、避難所が変更・増設されている可能性があります。災害時には市町村ホームページ等で確認してください。
- 豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。
やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認してください。

内閣府(防災担当)・消防庁

今のうちに、
自宅が安全かどうかを
確認しましょう！



[出典:内閣府(防災担当・消防庁)]



ご家族同士の安否確認方法、決まっていますか？

別々の場所にいるときに災害が発生した場合でも、お互いの安否を確認できるよう、日頃から安否確認方法や集合場所などを、事前に話し合っていきましょう。
災害時には、携帯電話の回線が繋がりにくくなり、連絡がとれない場合もあります。
その際は、「災害用伝言ダイヤル」「災害用伝言版」を活用しましょう。



災害用伝言ダイヤル

局番なしの**「171」**に電話をかけると伝言を録音でき、自分の番号を知っている家族などが、伝言を再生できます。



災害用
伝言ダイヤル
171

災害用伝言版

携帯電話からインターネットサービスを使用して文字情報を登録し、自分の携帯番号を知っている家族などが、情報を閲覧できます。

災害ボランティアセンター(VC)とは

災害VCは、大規模な災害が発生した際、被災者の困りごとに対し、ボランティアの力を借りて、被災者の生活の復旧・復興にむけた福祉救援活動を円滑に行うための組織です。

被災者



片付けや泥のかき出しを手伝ってほしい

避難所で子どもと遊んでほしい



どこに相談すればよいか、分からぬ

情報を知りたい



ボランティア

片付けや泥のかき出しを手伝いたい。



力仕事はできないけど何か手伝いたい



困っている人はどこにいるのかなあ

手伝いに行くには、どんな準備が必要かなあ

災害VC

受付

情報収集



連絡調整



活動支援



- 被災者 「誰かの力を借りたい」
- ボランティア 「誰かの力になりたい」をつなぎます。

◆災害VCで行われていること◆

- ☞ボランティア活動に関する行政、関係機関等との連絡調整
- ☞被災者ニーズの把握、被災世帯調査
- ☞ボランティアの募集・マネジメント
- ☞ボランティア活動の支援(受付～活動報告)
- ☞様々な支援活動、支援への資源などの調整(資機材の調達など)
- ☞情報発信(被災者への支援活動の告知、ボランティア募集、マスコミ対応)
- ☞ボランティア活動に係る事務(ボランティア活動保険加入手続きなど)

被災地の復興を目指します。



◆社会福祉協議会(社協)が災害VCを設置する理由◆

社協は、地域住民が暮らしやすいまちづくりの推進を図ることを目的とした団体で、平時から様々な地域福祉事業を展開しており、住民との繋がりもある組織です。そのため社協は、災害時においても、地域住民が一刻も早く安心安全に暮らせるように災害支援を行う必要があるからです。

- ☞行政や地域の関係機関、団体との繋がりがある。
- ☞全国的なネットワークがある。
- ☞これまで社協としての災害支援のノウハウがある。
- ☞閉所後も社協の本来機能として被災者の生活支援、復興支援にあたる。
- ☞社協が設置することが関係者で合意され、一般的にも定着している。
(※佐世保市地域防災計画に明記されています。)



お知らせ



ライオンズクラブ国際協会337-C地区と災害ボランティアセンターの運営支援に関する協定を締結いたしました。

令和4年4月8日(金)佐世保市社会福祉協議会とライオンズクラブ国際協会337-C地区は、災害ボランティアセンターの運営支援に関する協定を締結いたしました。

この協定の目的は、佐世保市社会福祉協議会とライオンズクラブ国際協会337-C地区が災害発生時に連携して、災害ボランティアセンターの迅速かつ効果的な運営を図り、災害ボランティア活動を円滑に行なうことです。

全国のネットワークを生かした活動を展開されているライオンズクラブ国際協会337-C地区の皆さまのご協力をいただくことは、災害ボランティアセンター運営に必要な資機材の調達をはじめ、物的・人的支援の両面において、大変心強く、これを機に被災者支援活動が、更に効率的かつ効果的になることが期待されます。

平常時からも連絡・連携体制を強化し、緊密な連携を図ってまいります。



福祉人材無料職業紹介所 佐世保福祉人材バンク

【福祉・介護職場への就職ミニ面談会のご案内】

施設・事業所との個別面談の機会を提供し、就職機会の拡大と社会福祉施設等の人材確保の充実を図ることを目的に開催します。

開催予定日	開催予定期間	開催予定会場
7月12日(火)	10:00~12:00	日宇地区コミュニティセンター
8月9日(火)		まちなかコミュニティセンター
8月26日(金)		相浦地区コミュニティセンター
9月22日(木)	13:00~15:30	アルカスSASEBO
10月28日(金)		西海市公民館
11月25日(金)		ソレイユ吉井
12月9日(金)	調整中	田平町民センター
令和5年2月17日(金)	13:00~15:30	川棚町公民館

*ミニ面談会の参加法人や開催日の変更など詳細情報は、随時、佐世保市社会福祉協議会のホームページまたは「welなが」ホームページに掲載致します。下記のQRコードからアクセスしてください。



〒857-0028 佐世保市八幡町6-1
(佐世保市社会福祉協議会内) ☎0956-24-1184(直通)

ひとりで悩んでいませんか？



お一人おひとりの相談に寄り添い、一緒に解決方法を考えます。

ひとりで悩まず、まずはご相談ください。

自立相談支援機関(佐世保市委託事業)

〒857-0028 佐世保市八幡町6-1

☎0956-23-0265 ✉seikon@sasebo-shakyo.or.jp

【相談窓口 開所時間】平日8:30~17:15

(土日祭日／年末・年始除く)

佐世保福祉人材バンクでは、**福祉のお仕事の紹介・面接に必要な紹介状の発行・求人情報の提供**など、就職活動のお手伝いをいたします。

福祉のお仕事に就職を希望する方や関心のある方、また人材をお探しの福祉施設・事業所の採用担当の方々もお気軽にご相談ください！お待ちしています。

善意のご芳志ありがとうございました。

【個人】 故・佐々野聰様

平道トノエ様(小佐々町矢岳)
中村 溫子様(小佐々町西川内)
山本トシ子様(小佐々町田原)
吉田 明盛様(吉井町吉元)
山崎 正文様(世知原町上野原)
市瀬 政浩様(江迎町田ノ元)
市木 竜生様(宇久町平)
烏山 徳光様(宇久町平)
菅 清信様(宇久町野方)
志佐 紗子様(宇久町本飯良)
川口 正弘様(宇久町寺島)

野田 康子様

久保ツチ子様(小佐々町楠泊)
野宮 鶴一様(小佐々町西川内)
故・桂 重彦様(小佐々町田原)
七種ひでの様(吉井町梶木場)
立石 博嗣様(世知原町太田)
中村真由美様(江迎町田ノ元)
柳内 博美様(宇久町平)
溜 仙一様(宇久町大久保)
村中満洲美様(宇久町小浜)
田中 善光様(宇久町太田江)

大川 梅子様(若竹台町)

松田 進様(小佐々町楠泊)
北川 光洋様(小佐々町西川内)
中村 時洋様(小佐々町岳ノ木場)
井手口慶治様(吉井町直谷)
故・南 芳雄様(江迎町志戸氏)
森 健雄様(江迎町赤坂)
山口 誠治様(宇久町平)
平野 カメ様(宇久町大久保)
土方 市郎様(宇久町小浜)
大岩ひとみ様(宇久町太田江)

【団体】 本興寺寒行団様 有限会社 国信配管様 シルクミュージックジョイントプロダクション様

株式会社 グランドコンフィアンス(世知原中学校)様 BTUグリーンリーブス会様
西海物産協栄会様 みどりの会様 SPARK JOY佐世保様

* 今回は2022年1月17日～2022年5月31日までに頂いた寄付を掲載させていただきました。

6月1日以降に頂いた寄付のご芳名は、次回117号(2022年10月発行)に掲載させていただきます。

社会福祉協議会では、香典返しの寄付や募金などの一般寄付をいただいております。これらの净財は、様々な福祉事業に活用させていただいております。また、香典返しをご寄付いただいた方には、挨拶状(忌明け札状)の印刷をしております(枚数は金額に応じます)。詳しくは、社協までお気軽にお問合せください。



ご寄付をいただきました 地域のために、有効に 活用させていただきます

●グランドコンフィアンス(世知原中学校)様から 寄附をいただきました。



令和4年3月23日、世知原中学校2年生は、起業体験学習の一環として、「グランドコンフィアンス」という会社を設立しました。株主を募集して会社運営を学び、地域の良さを伝える商品開発を行い、開発した商品(カレンダー、エコバック)を「世知原おくんち」にて販売されました。販売の収益金を、社会福祉協議会と世知原地区福祉推進協議会に寄付金としていただきました。

●SPARK JOY佐世保様から寄附をいただきました。



SPARK JOY佐世保様は、地域の皆様に現代画壇の第一線で活躍している作家の作品を入場無料で鑑賞いただくことを目的に、令和4年4月22日(金)～25日(月)に、「チャリティー企画 現代国際巨匠絵画展」を開催され、その収益の一部を寄付していました。

【お問い合わせ先】

社会福祉法人 佐世保市社会福祉協議会

〒857-0028 佐世保市八幡町6-1

TEL0956-23-3174 / FAX 0956-23-3175

✉ y-kawashiri@sasebo-shakyo.or.jp 
<http://www.sasebo-shakyo.or.jp/>

LET'S あたまのストレッチ

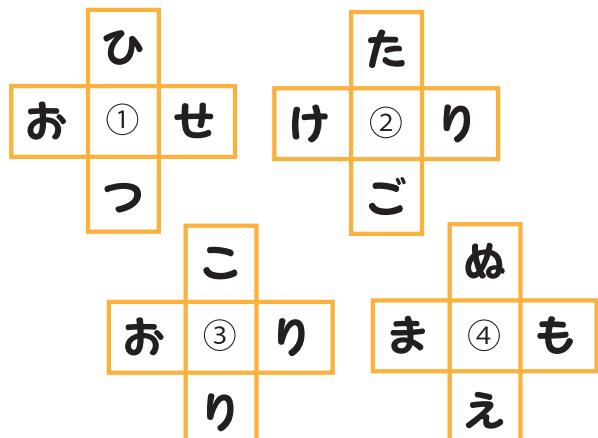


空欄にひらがな(単語)を入れ、①～④の文字を使って単語を完成させてください。

【応募方法】

- はがきかメールに氏名・住所・年齢・答え・社協だよりの感想やご意見を書いて社会福祉協議会へご応募ください。
- 抽選で15名の方にQUOカード(1,000円分)をプレゼントいたします。

【締め切り】 令和4年9月30日(金)必着



前回の答えは「くろしま」でした。

難しかったでしょうか？

ヒントとして、答えは、必ずこちらの紙面の中にはありますので、探してみてくださいね！